

研究課題番号	S-17-2
研究課題名	災害・事故における異常検知と影響予測手法の開発
研究実施期間	2018年度～2022年度
研究機関名	国立保健医療科学院
研究代表者名	浅見 真理

1. 委員の指摘及び提言概要

水道事業の観点から、水質事故における汚染源や物質についての情報の有無に応じた対応フローを提案し、模擬汚染物質を用いた異常検知と物質同定に一定の解決策を提示できた。水質データの基本となる分析手法や分析者の技量まで考慮して、今後のモニタリングネットワークの構築を目指す体制作りは高く評価できる。また、化学物質の存在量や環境への排出可能性を基にした大気・河川での拡散予測により作成した濃度の早見表は、緊急時のデータ収集やリスク評価、さらには健康影響未然防止対策を講じる上で役立つと思われる。大気、表流水、地下水と言ったクロスメディアの汚染物質拡散についても解析対象としており、評価できる。今後実用に向けた調整が期待される。

2. 採点結果

評価ランク：A